

淡路菰江古代ユダヤ遺跡が発見されることになった経緯

淡路島の洲本市には、1952年10月15日～16日にかけて、白山義高氏がユダヤ教の大司祭T・ローゼン師と一緒に発掘調査された古代ユダヤ遺跡があります。

淡路島の古文化の調査と遺跡の発掘は、出口王仁三郎氏が白山義高氏に託した次のような話から始まりました。

「如何なる理由を持たせるにせよ、戦争は戦争へと、全世界は戦場化して、神定の世の終末の審判が始まる。どうした機会に戦争が収拾されるかは、ユダヤと日本の完全な提携によることは、既定の事実である。ユダヤと日本が提携できるように、淡路島の古文化遺跡の史料調査をして欲しい」と要所要所の差図を受け、ユダヤ遺跡の開発が始まりました。(昭和10年)

終戦の前年1944年(昭和19年)、白山義高氏は、1944年(昭和19年)8月1日(皇紀2604年)の日付の書面をもって、ユダヤに対して「聖書に啓示されている合図の旗」と題する20頁の勧告書を送りました。この勧告書は日本政府(情報局総裁宛)を經由し、米英ユダヤ聖徒へ送られました。

「ユダヤ遺跡の開発をするときは、聖地に旗を建てて、この所在を広く世界に告知する必要がある。かうなると、古代イスラエル文化の宣伝が始る。」(昭和22年12月)

淡路島の古代ユダヤ(イスラエル)遺跡の発掘を依頼した出口王仁三郎氏は、イスラエルの建国を見ることもなく、1948年(昭和23年)1月19日に亡くなります。

出口王仁三郎氏の亡くなって「4か月経た1948年(昭和23年)5月14日にイスラエルは建国されました。

終戦から7年経た1952年(昭和27年)10月14日、白山義高氏の勧告書に応じて、日本占領軍総司令部に従軍牧師として活動されていたユダヤ教大司祭T・ローゼン牧師が淡路島にやってこ

れました。10月14日に「四洲園(現在の夢泉景)の古代ユダヤ遺跡に日本の国旗とイスラエルの国旗を交差して掲揚し、発掘祭典(玉串奉献)が行われました。

1952年(昭和27年)10月16日正午、淡路洲本市古茂江、小路谷の海岸、四洲園内の小磯とよばれる景勝地の海岸に突出した盤岩の岬に秘められた問題の古代淡路文化遺跡の実相が、遂に多人数立会いの許に確認されました。

其の遺跡といふのは、意外にも、自然の盤岩の裂目を巧みに利用し、其の上に鑿の無い時代の工作を想はせる 火と水との作用で製作した女の陰所(ほど)の彫像でありました。



ユダヤ教大司祭T・ローゼン牧師が敗戦に打ちひしがれている日本国民に次のように呼びかけられたのでした。<世界に幸福と平和をもたらすものは、この二つの国旗であります。太陽と星とであります。太陽は昼の世界を照らします、この星は夜を司る司會者なのです。全世界が悩みの時は、この暗黒の世界を導くものは星であります。太陽も世界に正義の観念を与えます。この二つがお互いに手を組んで進んでいこうではありませんか。偉大なる太陽の国シオンよ、眼を醒せ! その努力と貢献は必ずや世界に平和と幸福をもたらすでありますよ>

今回の式典と祭典に参加できない方のために、日本語・ヘブライ語・英語・スペイン語・中国語の5言語で日本と世界に向け実況放送とダイジェスト版の再放送をする予定で準備を進めています。

趣旨を汲んでいただき、資金協力をお願いします

※1万円以上ご協力していただける方は、当日の案内やテロップにお名前を掲載させていただきます。

ホームページからも申し込みできます 席に限りがありますので、お早めに申込みください。(申込み順で見やすい席をご案内します) ※参加費用の欄は希望する式典に○印をお願いいたします

◆申し込み先 FAX:050-3737-3241 メール:awaji@komoeiseki.com

お名前			ご紹介者			
ご住所						
電話番号			メールアドレス			
参加費用	13時～	洲本市文化体育館(文化ホール)での記念講演	2,000円			
	17時～	菰江イスラエル遺跡での祭典(玉串奉献)	3,000円以上			
	18時30分～	夢泉景での直会(懇親会)	8,000円			
資金協力・お祝い金			当日の案内とテロップにお名前を記載	可・不可		
お振込金の総額			お振込予定日			

【振込先】 ゆうちょ銀行	名義:淡路菰江古代ユダヤ遺跡奉賛会		普通			
ゆうちょ銀行から	記号	番号	他銀行から	店名	店番	口座番号
ゆうちょ銀行への振り込み	10160	74098201	ゆうちょ銀行への振り込み	〇一八(ゼロイチハチ)	018	7409820

チラシについての問い合わせ:淡路菰江古代ユダヤ遺跡奉賛会 世話役●成田 亨

080-9175-4666

〒177-0033 東京都練馬区高野台1-23-20-805 株式会社安心 内